

節目の時期を迎えて！

新年を迎え、気持ちも新たに3学期がスタートしたことが、ついこの間のように思えます。今日から「あっ」という間の2月です。昔から「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」といわれるように、1月は新年が始まり何かと忙しく、2月は普段の月より短く、3月は一年間のまとめや来年度にむけての準備で忙しくなりますので、時間がとても早く過ぎるように感じます。1日1日の学校生活を大切に過ごしましょう。



さて、2月3日は節分の日です。「節分」は本来、季節の移り変わる時の意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指しています。その中で、立春が1年の初めと考えられることから、「節分」といえば春の節分を示すものとなってきたそうです。また、節分に「豆まき」をするのは、季節の変わり目には邪気が入りやすいと考えており、さまざまな邪気払い行事の一つとして、新しい春を迎える前に邪気を払って、幸福を呼び込むために行われていたものが始まりだそうです。節分という行事には、邪気を払い、みんなが「健康で過ごせるように」という人々の願いが込められています。世界中に新型コロナウイルス感染が拡大し3年が経過し、依然として感染拡大は続いているようですが、行動制限はほとんどなくなった「コロナと共に (With コロナ)」の時代に突入しました。今後も引き続き、感染予防対策をおこない、早く感染が収束し、一日でも早く世界中の人々が安心した日常生活を取り戻すことを願っています。

ところで、物事の区切りとなる大事なところを「節目 (ふしめ)」といいます。新年がスタートして1ヵ月が経った3学期の2月は、1・2年生にとっては次の学年への進級という「節目」を迎えるための準備の時期です。一人一人ができた事、やり遂げた事、できなかった事、やり残した事など、この1年間を振り返り、今の自分を次のステージにどのようにつなげていくかを考えていく大切な時期だと思います。3年生にとっては多くの生徒が、私立高校入試の受験や公立高校前期選抜の受験があり、コロナウイルスやインフルエンザ等の感染予防対策を徹底しながら、体調を整えて自分のベストを出せるように、今までの自分の頑張りを信じて、人生の節目であるこの時期を大切に過ごしてほしいと思います。先日の面接練習においても、「志望理由」「将来の目標」「頑張りたいこと」など、自分自身の言葉ではっきりと答え、しっかりと目標を持っている生徒が多くいることに安心しました。3年生の皆さんには、中学校3年間の授業や学校行事、部活動や生徒会委員会など、コロナ禍ではありましたが「今できること」に一生懸命に取り組む、自分自身が頑張ってきたという自信を胸に、これからの試験に臨んでほしいと思います。応援していますので、自分のベストを尽くして頑張ってください。



3年生にとっては多くの生徒が、私立高校入試の受験や公立高校前期選抜の受験があり、コロナウイルスやインフルエンザ等の感染予防対策を徹底しながら、体調を整えて自分のベストを出せるように、今までの自分の頑張りを信じて、人生の節目であるこの時期を大切に過ごしてほしいと思います。先日の面接練習においても、「志望理由」「将来の目標」「頑張りたいこと」など、自分自身の言葉ではっきりと答え、しっかりと目標を持っている生徒が多くいることに安心しました。3年生の皆さんには、中学校3年間の授業や学校行事、部活動や生徒会委員会など、コロナ禍ではありましたが「今できること」に一生懸命に取り組む、自分自身が頑張ってきたという自信を胸に、これからの試験に臨んでほしいと思います。応援していますので、自分のベストを尽くして頑張ってください。

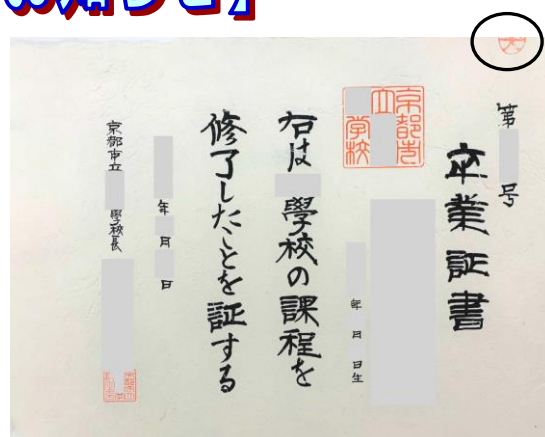
ところで、物事の区切りとなる大事なところを「節目 (ふしめ)」といいます。新年がスタートして1ヵ月が経った3学期の2月は、1・2年生にとっては次の学年への進級という「節目」を迎えるための準備の時期です。一人一人ができた事、やり遂げた事、できなかった事、やり残した事など、この1年間を振り返り、今の自分を次のステージにどのようにつなげていくかを考えていく大切な時期だと思います。3年生にとっては多くの生徒が、私立高校入試の受験や公立高校前期選抜の受験があり、コロナウイルスやインフルエンザ等の感染予防対策を徹底しながら、体調を整えて自分のベストを出せるように、今までの自分の頑張りを信じて、人生の節目であるこの時期を大切に過ごしてほしいと思います。先日の面接練習においても、「志望理由」「将来の目標」「頑張りたいこと」など、自分自身の言葉ではっきりと答え、しっかりと目標を持っている生徒が多くいることに安心しました。3年生の皆さんには、中学校3年間の授業や学校行事、部活動や生徒会委員会など、コロナ禍ではありましたが「今できること」に一生懸命に取り組む、自分自身が頑張ってきたという自信を胸に、これからの試験に臨んでほしいと思います。応援していますので、自分のベストを尽くして頑張ってください。

【卒業証書における割り印に関するお知らせ】

令和5年3月実施の卒業式（本年度）から、卒業証書における割り印（証書の上の印／右図の○の印）について、京都市教育委員会の方針に基づき、省略いたします。

割り印は、卒業証書と卒業証書台帳（卒業生の一覧が記録される帳簿）の関連を証明するため、2つの紙面にまたがらせて押す印鑑です。

押印に法令等の定めはなく、卒業証書と卒業証書台帳の関連も番号や氏名等で関連を証明できるため、押印作業の手間や、今後の台帳の電子化等も見据え、本年度より、全市統一で割り印を省略することとなりましたことをお知らせさせていただきます。



【2月5日は「京都はぐくみ憲章の日」】

「はぐくみ文化」を未来の京都へ

平成16年、子どもの命が粗末に扱われたり、子ども自身が自尊感情を持たず、命を軽視してしまう事件が続き、そこで、人づくり21世紀委員会などの子どもたちに関わる京都の市民ネットワークが中心となり、改めて子どもを健やかに育むため、市民の心意気を行動で示すことが緊急の課題であるとして議論を重ね、平成18年6月に「人づくり21世紀委員会からの提言」が京都市に提出されました。これを受け、京都市では、議論を重ね、市民の皆さまからの意見募集や意見交換会、シンポジウムを行ったうえで、平成19年2月5日に「子どもを共に育む京都市民憲章(愛称：京都はぐくみ憲章)」を制定しました。「地域の子どもは地域で育てる」という思いのもと、「京都はぐくみ憲章」は、子どもたちの笑顔のために6つの行動理念を掲げています。このすばらしい伝統を京都の誇りとして継承していくために、私たち大人は子どもの模範となり、子どもと関わる中で自らも成長していくことが大切です。

京都はぐくみ憲章

～ 子どもを共に育む京都市民憲章 ～



わたしたちは、

- 子どもの存在を尊重し、かけがえない命を守ります。
- 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日(青児二ニコ英新の口)制定
3月13日 京都市会が憲章を決議

【1月のおもなできごと】

【3学期始業式・伝達表彰・生徒集会…1月5日(木)】

オンラインで実施した3学期始業式前には、「中学生人権作文コンテスト」と「京都府アンサンブルコンテスト」の伝達表彰をおこないました。始業式後には、生徒集会をおこない、年末におこなわれた左京支部生徒会交流会の内容を全校生徒に伝え、続いて各専門委員長や生徒会長から3学期に向けて話をしました。



【第3回避難訓練…1月12日(木)】

第3回避難訓練を実施し、改めて災害時の心構えや行動の仕方、避難訓練の意義や避難経路の確認などを各学級でおこないました。その後、東日本大震災時の映像を視聴し、地震の恐ろしさを再確認し、どのような行動をとることが大切かを学んだ後、地震に対する訓練を始めました。



【日本漢字能力検定…1月20日(金)】

学校運営協議会スタディ部会主催のもと、第3回「日本漢字能力検定」をおこないました。寒い日ではありましたが、教室に入るとテキストを見ることができないため、試験開始ギリギリまで廊下で確認する姿が見られました。1・2年生30名が漢字検定に挑戦し、どの生徒も真剣に取り組んでいました。2月末頃に、結果通知が届きます。全員、合格することを願っています。



【2月のおもな学校行事】

- ・2月 7日(火) …1年生科学センター学習(4・5・6組)
- ・2月 8日(水) …1年生科学センター学習(1・2・3組)
- ・2月10日(金) …2年生伝統公演授業〔午前…京都観世会館〕
- ・2月10日(金)～11日(土) …京阪神「私立高校入試」
- ・2月16日(木)～17日(金) …公立高校「前期選抜入試」
- ・2月20日(月)～22日(水) …1・2年生, 9組「第5回定期テスト」

